

馬主だより

第70号

平成27年3月6日

発行 (一社)ばんえい競馬

馬主協会事務局

☆ばんえい十勝年間発売額130億円超え 最多発売額更新か!?

▼帯広市単独開催初年度 2007 年度の発売額は 129 億 3397 万円で、ばんえい十勝となりこれまで最多発売額でしたが、今年度はそれを超えて 130 億円台になることがいよいよ現実味を帯びてきました。気を緩めることなく最後まで全力で走り切るよう期待します。▼2014 年度の開催も残すところ僅か 11 日となりました。懸案でありました競走馬の頭数も第 25 回の出走申込頭数が 386 頭と何とか持ちこたえ 1 日 11 レースを堅持したまま年度末を迎えることに安堵しております。▼新馬登録申請頭数も 236 頭(2 月末)と昨年度を上回る状況となりました。一方で、昨今、特に年度替わりには古馬の減少が顕著に現れる時期なので、今後が心配です。▼まだまだ競走馬減少に歯止めがかかる状況にはありません。賞金を高く、出走手当を高く、どちらも高い方が良いのは明らかですが、そのバランスは賛否の分かれるところでもあります。出走馬を確保するためには、出走手当が大事ですし、競走馬の価値を高めるには、賞金も大切。▼競馬の世界ではよく優勝劣敗が大原則と言われています。それが勝負の世界の掟。その原則を歪めると夢が萎んで、馬主がいなくなるばかりかファン離れに繋がるのは明らか。▼いずれにしてもまだまだ十分な報償費ではありませんが、少しずつ上がって来た実感は感じ取れるこの頃ではないでしょうか!!

平成26年度 ばんえい競馬 発売成績(累計)

開催142日間

CB 事業推進課投票グループ資料提供

平成27年3月2日終了時

区分	発 売 金 額							
	平成26年度			平成25年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
本 場	142	1,411,906,300	1,425,451,800	142	1,460,263,300	99.05	96.69	
直営場外	旭川北彩都	142	869,766,600	881,286,500	142	917,718,400	98.69	94.77
	ミトスポット北見	142	340,593,800	346,767,700	142	437,120,100	98.22	77.92
	ハロンス岩見沢	142	259,856,600	263,529,500	142	287,198,600	98.61	90.48
	ハロンス釧路	142	107,711,100	108,853,900	142	119,584,000	98.95	90.07
	ハロンス名寄	142	126,487,700	126,194,600	142	144,044,900	100.23	87.81
	アプスポット網走	142	115,658,400	117,154,200	142	140,569,900	98.72	82.28
	琴似駅前	142	122,152,500	123,594,600	142	105,520,400	98.83	115.76
	イルムふかがわ	142	115,043,600	116,506,000	83	86,980,500	98.74	132.26
電投	オッズパーク	142	3,987,474,000	4,012,039,300	142	3,471,092,900	99.39	114.88
	OP(七重勝)	142	47,365,000	76,510,300	142	44,255,900	107.24	107.03
	OP(五重勝)	142	34,681,400		142	38,138,700		90.93
	競馬モール	142	2,672,151,800	2,703,097,000	142	1,957,798,800	98.86	136.49
	SPAT4	48	686,135,800	697,230,100	13	74,105,200	98.41	925.89
広域場間場外	—	1,307,623,400	1,316,981,600	—	1,471,575,400	99.29	88.86	
場外・電投計	—	10,792,701,700	10,889,745,300	—	9,295,703,700	99.11	116.10	
合 計	142	12,204,608,000	12,315,197,100	142	10,755,967,000	99.10	113.47	
1日平均		85,947,944	86,726,740		75,746,246	99.10	113.47	

平成26年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第24回6日目まで142日間)

平成25年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第24回5日目まで142日間)

会議等の様子

○ 平成 26 年度第 7 回執行役員会開催！！

～帯広市から陳情に対する回答書の説明受ける～

平成 27 年 2 月 8 日(日)当協会会議室において、平成 26 年度第 7 回執行役員会を開催いたしました。

競走馬甲慰金の査定、獣医師の確保、また、平成 26 年度の決算見込みを踏まえ、次年度平成 27 年度の予算編成の骨子について審議いたしました。

競走馬の獣医師確保にあたっては、昨年、11 月 20 日付け森田獣医師から十勝ドラフトホースクリニックの閉鎖を前提とした申し出があり、診療所閉鎖を決断するに至った経緯等を確認する一方で、慰留を求めましたが、本人の意思が固いことから、課題や改善点も含め、今後、平成 27 年度以降の診療所の運営体制についてどうあるべきか、帯広市、当協会、森田獣医師の意見を踏襲し、具体的に新しい診療体制について討議いたしました。

現状で想定される診療体制は

- ① 現行の民間開業獣医師体制
- ② 主催者による診療体制
- ③ 当協会による診療体制

以上、三つの体制が考えられるが、それぞれのメリット、デメリットを考察するとともに過去の経緯や現状の課題等、様々な視点から診療体制と獣医師確保の今後の進め方について検討、現段階においては帯広市ないし当協会が診療体制を構築するのは極めて難しいという判断から、現行の民間開業獣医師による診療体制を構築するとともに、早急に開業獣医師を公募することとなりました。

また、役員会終了後、引き続き帯広市ばんえい振興室から、昨年暮れに陳情した「平成 27 年度帯広市ばんえい競馬に関する陳情書」の回答について説明がありました。

その中で報償費の関係では、今年、年明けの賞金、諸手当の水準で、平成 27 年度 4 月からスタートする旨の考え方が示されました。

これに対し当協会は、競走馬確保の観点から、今一度出走手当（1 出走目）については、2 歳 43,000 円、3 歳以上 37,000 円でスタートするよう再考を求めました。

次に獣医師確保の問題について、今年の 4 月以降森田獣医師がどこまで協力してくれるのか、当協会が無償で譲渡した診療器材等については、残してくれるのか早急に確認することと併せて、開業獣医師の募集要領を取り纏め、ネットに掲載するのは勿論、関係諸団体や個別に獣医師を捜すなどあらゆる方法を駆使して、限られた時間の中で迅速な対応をする事を確認しました。

なお、陳情の内容及び回答については、別紙「回答書」のとおりです。

【第 7 回執行役員会議事】

- (1) 競走馬甲慰金の査定について
- (2) 平成 27 年度帯広市ばんえい競馬開催に関する陳情回答について
- (3) 獣医師の確保について
- (4) その他
 - ① 平成 26 年度ブロック懇談会開催日程について
 - ② 平成 26 年度第 5 回理事会の開催日程
 - ③ 臨時家畜市場の開設日程

【馬弔慰金支給対象馬】 2頭 1,100,000円

内 訳

(単位;円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
コウシュハゴールド	3	広瀬 豪	業務中	600,000
エピ	2	濱田 誠	業務中	500,000

情報・ご案内

○ ばんえい十勝7重勝で514万円馬券 史上2番目高配当！！

ばんえい十勝では、1月24日(土)7重勝単勝式勝ち馬投票券で、払戻金514万5670円の馬券が3口も出ました。2012年に同賭け式を導入以来、ばんえい十勝では史上2番目の高額配当となりました。

昨年12月20日以降、的中者が出ておらず、配当を次の開催に持ち越す「キャリアオーバー」が続いた結果、投票も開催毎に増え続け24日までにキャリアオーバーが1094万7790円に達していました。

7重勝式は、13年の2月11日に717万3310円の高配当が3口出しています。また、5重勝単勝式の配当では、過去に1022万2930円が最高となっています。

正に夢の馬券です。是非、投票してはいかがでしょうか？

なお、5重勝、7重勝の馬券は、インターネット投票サイト「オッズパーク」で発売しています。

○ コトブキライアン号 最高齢勝利記録を更新！！

～14歳10ヵ月 通算成績448戦37勝～

ばんえい十勝では、現役最高齢馬コトブキライアン号(雄 金山明彦きゅう舎)が2月16日の第6レースで14歳10ヵ月となり、自身が持つばんえい競馬歴代最高齢勝利記録を塗り替えました。

コトブキライアン号は、13年6月には、ばんえい競馬史上最多出走記録も更新。かつて中高年の星として注目を浴びたゴールデンバージュ号の記録を破った昨年9月21日以来の勝利で通算448戦37勝目でした。これからも更に記録を更新し続けてください！！

○ ばんえい競馬 枠連・ワイド馬券 平成27年度4月開幕より導入！！

帯広市は、平成27年度から新たな勝馬投票券の賭け式として、枠連、ワイド馬券を導入する方針を固めた。ワイドは、1着～3着に入る2頭の組合せを馬番号で当てる馬券。的中馬券は「1・2着」「1・3着」「2・3着」の3通りとなります。

また、枠連(枠番連勝式)は、2011年8月に3連単、3連複導入に伴い、馬券発売システムの都合により廃止していましたが、復活することになりました。

○ 新馬登録申請頭数昨年度より増加 2月末現在 236頭！

今年度の馬登録申請について、先日、2月末日が締切日となっていました申請数は、236頭(昨年同期199頭)となり前年より増加しました。

今後、当該申請した馬については、3月11日(水)、3月12日(木)、3月25日(水)、3月26日(木)の4日間(いずれも午前9時から正午まで)で帯広競馬場装鞍所に於いてばんえい馬定期登録検査を実施いたしますが、日程により厩舎ごとに検査時間があらかじめ決められております。

詳細については、申請時の調教師にご確認ください。また、登録検査に際しては、下記の注意事項を遵守されますようお願いいたします。

なお、第1回能力検査受検馬の申請は締め切りでしたが、第2回目以降能力検査を受検する馬については、随時、申請を受け付けておりますので、地方競馬全国協会駐在員(帯広競馬場内)まで申請ください。

注：登録検査に関するお問い合わせは、☎0155-34-0825(地方競馬全国協会駐在員 佐々木)までご連絡ください。

■【登録検査時の注意事項】

- ① 検査時に特徴の違う馬が発見された場合に備え、その馬の入手経路がわかるようにしておいてください。
- ② 検査時は、必ず馬に轡(くつわ)を装着してください。
- ③ 検査時は、特徴が判別できるよう馬体の汚れを落としてください。
- ④ 検査当日、現地(競馬場)での申請受付は一切いたしません。
- ⑤ 検査当日、競馬場に入りゆうし登録検査を受検する場合には、必ず馬伝染性貧血検査及び三種混合ワクチン(所定の間隔で実施)の証明書を持参すること。

○ 2015年度ばんえい競馬 4月18日(土)ナイトーにより開幕 “26開催152日間”を計画！！

帯広市は平成27年度の開催回数及び日数について、今年度より1日少ない26開催152日間を計画しています。

開催日程では、4月18日(土)ナイトーで開幕し来年の3月28日(月)まで、ナイトー、準ナイトー、デイ開催、薄暮など時期によって発売時間帯を変える年間計画を立てています。

この日程については、現在、場外発売の協力体制なども含め他地方競馬主催者と協議調整中であり、計画が変更となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

なお、開催日程表については、別紙のとおりです。

■【開催日程の概要(計画)】

- ・平成27年4月18日(土)～平成27年11月23日(月)
【ナイトー開催(最終レース20:40発走)】 97日間
- ・平成27年11月28日(土)～平成27年12月29日(火)
【ナイトー開催(最終レース19:40発走)】 15日間
- ・平成28年1月1日(金)～平成28年1月3日(日)
【デイ開催(最終レース17:40発走)】 3日間
- ・平成28年1月4日(月)～平成28年3月28日(月)
【薄暮開催(最終レース18:40発走)】 37日間

○ 平成 27 年度能力検査基準示される！

～第 1 回能力検査 4 月 11 日(土)帯広競馬場にて実施～

平成 27 年度能力検査の合格基準タイム等について、帯広市から示されました。別紙「平成 27 年度能力検査について」をご参照ください。

また、能力検査の日程につきましては、第 1 回能力検査は、4 月 11 日(土)に実施いたします。

なお、第 2 回目以降の能力検査日程については、別紙「平成 27 年度 ばんえい競馬諸行事及び開催日程」をご覧ください。

○ 今年度臨時家畜市場 中止のご案内

～新年度は 4 月 12 日(日) 競馬場内で臨時家畜市場開設予定～

今年度、3 月 24 日(火)に帯広競馬場で開設を予定しておりました臨時家畜市場ですが、当該市場への出場頭数が見込めないとの理由から、中止せざるを得ないという結論に至りました。

なお、例年、第 1 回能力検査の翌日に開設しておりました臨時家畜市場については、これまで同様、帯広競馬場内において 4 月 12 日(日)に開設を予定しています。

市場開設の有無も含め詳細につきましては、当協会事務局か各調教師にお問い合わせください。

馬主各位には、大変ご不便をお掛けいたしますが、何卒、事情ご斟酌のうえ、ご理解とご協力をお願いいたします。

レース情報

○ 重賞競走の結果

月 日	重 賞 名	馬 名	馬 主	調教師
1 月 25 日	第 25 回 ヒロインズカップ	クインフェスタ	高橋 一二	金田 勇
2 月 15 日	第 40 回 黒ユリ賞	シリウス	高柳 稔	長部 幸光
3 月 1 日	第 36 回 チャンピオンカップ	オレノココロ	大森 勝廣	槻館 重人

優勝おめでとうございます！！

◆ 第 25 回ヒロインズカップ（4 歳以上牝馬オープン）

25 日(日)は重賞・ヒロインズカップ(4 歳以上牝馬オープン)が行われ、単勝 3 番人気のクインフェスタが優勝。引退レースで見事に重賞初制覇を果たしました。

ばんえいオークスなど重賞 3 勝を誇る 5 歳馬ナナノチカラが 1 番人気。しかし 2 番人気以降は混戦で、ダイリンビューティからアアモンドマツカゼまではほぼ実力差がないという評

価。それらに A2 で連続連対中のキュートエンジェルがどこまで迫れるか。馬場水分 2.7% のなか、注目のスタートが切られました。

積極的に先行したのはナナノチカラ。第 1 障害を抜けて、やや後続を引き離します。しかし、レースはまだ序盤。各馬も徐々に差を詰め、ほぼ横一線の状態で第 2 障害を迎えました。

最初に仕掛けたのはダイリンビューティ。ニシキエースがこれに続き、他馬もいっせいに登坂を開始します。しかしダイリンビューティは抜群の登坂を見せ、先頭でこれを突破。リードを広げにかかりますが、そうはさせじとナナノチカラ、キュートエンジェルが続き、その直後にタカラハヤヒメ、クインフェスタ、セイコークイン、アアモンドマツカゼと、続々と障害をクリアしていきました。

最初に突破したダイリンビューティでしたが思ったほど進まず、障害を下りた直後にナナノチカラが先頭へ。快調に飛ばしたナナノチカラは、残り 20 メートル付近でも 2~3 馬身ほどのリードを保ちます。ダイリンビューティも懸命に前進するものの徐々に苦しくなり、代わってクインフェスタが 2 番手に浮上。クインフェスタはさらに脚を伸ばして、ナナノチカラに迫りません。そしてゴール線上での逆転劇。怒濤の末脚を發揮したクインフェスタが寸前でナナノチカラを捕らえ、悲願の重賞初制覇を果たしました。

さらにナナノチカラは寸前で脚を止めてしまい、そこへしぶとく歩き続けたダイリンビューティが肉薄。そのままかわし去ったダイリンビューティが、2 番手でゴールを果たしました。ナナノチカラはさらに遅れること 1 秒 6 差の 3 着となりました。

クインフェスタは今回が引退レース。これまで重賞ではナナノチカラの後塵を拝してきましたが、ラストチャンスでリベンジを果たしました。牝馬での力上位を示しただけに引退は残念ですが、今後は仔に夢を託したいところです。

ダイリンビューティは昨年のこのレースを制して以来となる重賞連対。勝ったクインフェスタには完敗でしたが、その他の 5 歳勢に先着を果たしたように、8 歳を迎えた今年も衰えないことを証明しました。古馬の牝馬重賞はこの一戦だけですが、これまでと同様に条件戦なら、牡馬相手でも好勝負を演じ続けてくれることでしょう。

◆ 第 40 回黒ユリ賞（3 歳牝馬オープン）

15 日(日)は重賞・黒ユリ賞(3 歳牝馬オープン)が行われ、単勝 3 番人気のシリウス が優勝。牡馬オープン相手でも互角の立ち回りを見せていた好素材が、初タイトルを手に入れました。

昨秋の牝馬特別・いちい賞を制し、2 歳 A-1 戦でも勝ち鞍を挙げているタキニシサンデーが 1 番人気。ナナカマド賞 3 着のワタシハサクランボが続き、以下シリウス、ホクショウモモまでが単勝ひと桁台となりました。ただ、3 歳牝馬戦で、未知の重量 640 キロ。どの馬にも十分にチャンスがある一戦となりました。

馬場水分も 3.3% と、多少力の要る状態。ただ、ペースを握ったアアモンドハナビが軽快に進み、他馬もそれに引っ張られるように早め早めの競馬。これが後半にどう影響してくるか、目の離せない展開となりました。

真っ先に障害にたどり着いたアアモンドハナビが、最初に登坂を開始。しかし、じっくりとためたタキニシサンデーが抜群の登坂力を發揮し、ひと腰で突破します。遅れて仕掛けたメモロコマチとシリウスが、やや離れてクリア。以下アアモンドハナビ、サンノハヤヒメと続きました。

先頭を行くタキニシサンデーでしたが、障害を下りた直後から進みは今ひとつ。併せ馬の状態で追いかけてきたメモロコマチとシリウスが、残り 30 メートル付近でこれを捕らえます。しかし残り 15 メートルでシリウスがストップ。さらに残り 10 メートルを切ったところで、メモロコマチも脚を止めてしまいます。そこへスルスルと伸びてきたのがタキニシサンデー。2 頭をかわ

して先頭に立ち、これで勝負あったかと思われたところ、立て直したシリウスが強襲。メモロコマも最後の力を振り絞って脚を伸ばします。一進一退の攻防の末、先頭で荷物を運び切ったのはシリウス。0秒7差でメモロコマが入線し、タキニシサンデーはさらに0秒7差の3着となりました。

勝ったシリウスはこれが重賞初制覇。力の要る馬場のなか未知の重量を曳き、追い比べの末に勝利をもぎ取る好内容でした。この勝負根性は、のちの重賞戦線においても大きな武器となることでしょう。今後の成長が楽しみです。

同じく最後まで我慢したメモロコマも好内容のレースでした。勝ち馬との力差は感じられないだけに、今後も展開次第で好勝負を演じてくれるに違いありません。

◆ 第36回チャンピオンカップ（4歳以上重賞競走優勝馬）

1日(日)は重賞・チャンピオンカップ(4歳以上、今年度重賞競走優勝馬)が行われ、今季の銀河賞、天馬賞を制した5歳馬オレノココロが勝利。単勝最低人気を覆し、古馬重賞初制覇を果たしました。

オッズは多少割れ加減でしたが、近況のレースぶりがいいニュータカラコマや、実績上位のキタノタイショウ、堅実に走るコウシュハウンカイなどが上位人気。ただ、最低人気のオレノココロでも26.5倍で、どの馬にもチャンスがあると見られました。

折りからの雪で、馬場水分は4.1%に上昇してスタート。各馬とも早めの競馬を意識してか、中間点では軽く息を整える程度で進みます。フクリ、ニュータカラコマあたりは後方でじっくり脚をためましたが、他馬はほぼ横一線で第2障害を迎えました。

ひと息入れて、真っ先に仕掛けたのはハクタイホウ。これにコウシュハウンカイ、インフィニティー、オレノココロも続き、4頭が並んで障害を突破。やや遅れてホクショウユウキ、ニュータカラコマもクリアしていきました。

4頭横並びのなかから抜け出したのはオレノココロ。ゲイゲイと脚を伸ばし、一気に突き放しにかかります。これに食い下がったのはコウシュハウンカイとハクタイホウで、インフィニティーはやや後退。勝負はこの3頭に絞られましたが、1馬身ほど抜け出したオレノココロの脚いろは衰えを見せず、そのまま先頭で荷物を運び切りました。馬体を併せての追い比べとなったコウシュハウンカイとハクタイホウの叩き合いは、コウシュハウンカイに軍配が上がりました。オレノココロは近2走が今ひとつで、トップハンデ820キロも嫌われたか、単勝は最低人気。しかし、結果は正攻法で押し切る圧巻の内容でした。古馬一線級が相手でも互角以上の力があることを証明したことで、今後の重賞戦線でも目が離せない存在。さらなる飛躍が期待できそうです。

2着はコウシュハウンカイ。結果的に5歳馬によるワンツーフイニッシュとなりました。重量面で恵まれていたとはいえ、さらに軽ハンデだったハクタイホウの追撃を凌いだ内容がよく、こちらも今後の活躍が楽しみです

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。